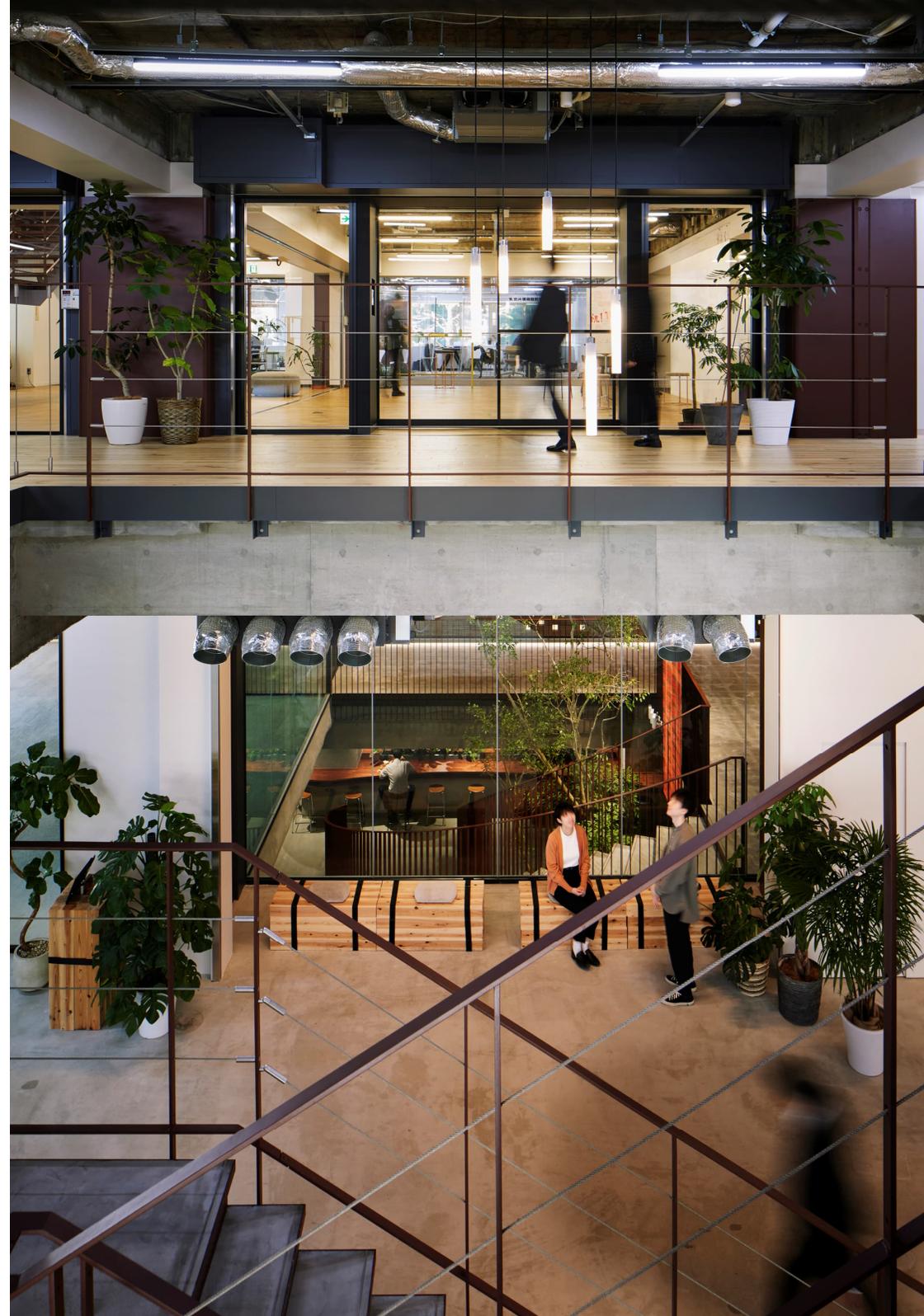


WORK VILLA MITOSHIRO

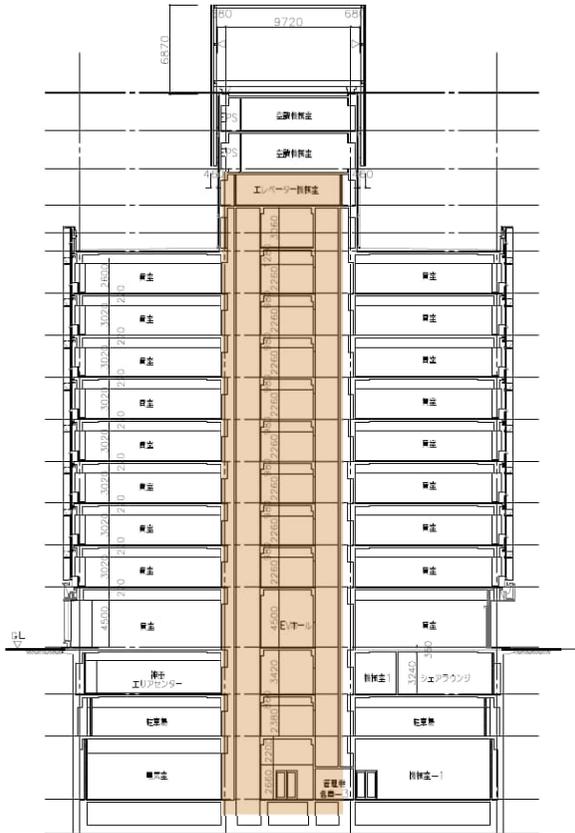
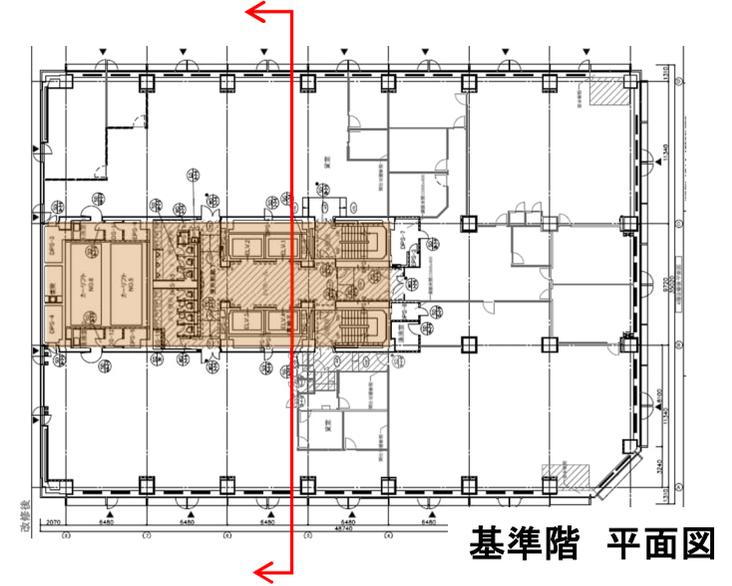
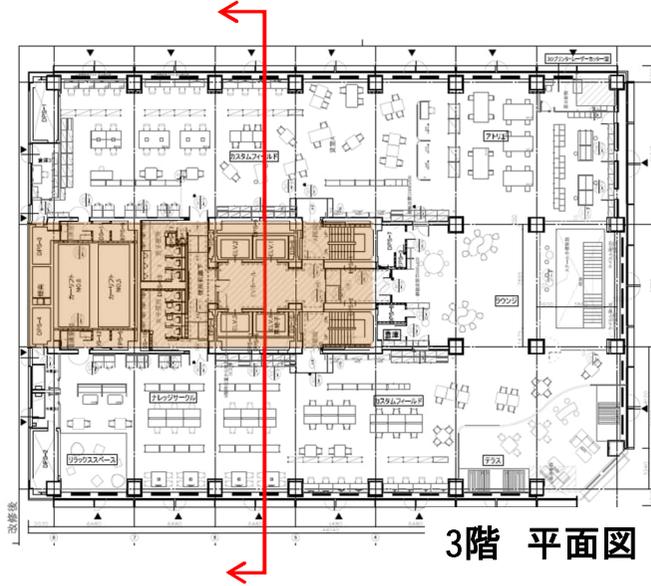
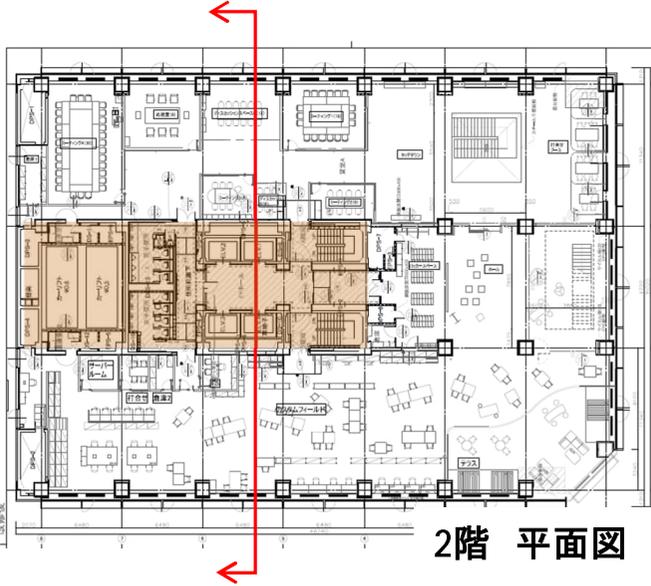


- ① 築60年建築の価値を見極め、活かす
- ② 環境・エネルギー削減へ寄与
- ③ 建築をまちにひらくことで、働く場を起点とする新たなまちづくりへ寄与
- ④ 常に変化し続け、次の時代につなげる建築づくり



サステイナブルな建築の実現

計画概要



規模 : 地下3階 地上9階 塔屋4階
建築面積: 1,605.087㎡
延床面積: 20,132.774㎡
(基準階 1,605.087㎡)
高さ : 47.0m
構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
入居人員: 約1800人
入居企業: 23社

築60年建築の価値を活かす改修

その時代に適合した改修を行い、建築の価値を高めてきた。

各改修の履歴を丁寧に追い、積み重ねることで、建築のもつ価値の維持方法を社会に提言していく。

Phase1

1966: 竣工時



当時の先端技術を採用。

Phase2

2002: 外装・設備・耐震改修



耐震補強を含む全面改修を実施。

安全性・快適性・環境性能を大幅に向上。

Phase3

2024: 1階外装・内装・設備改修



ストックマネジメントの時代にふさわしい再生。

構造体やオリジナル要素の価値を継承しつつ、新たなデザインコードを加えることで、「環境性能」と「快適性」を飛躍的に高め、利用者に愛着を持たれる新しい時代のオフィスビルへ生まれ変わらせた。

各時代が積層する豊かなファサード



旧メインエントランス部は、
石張ファサードをそのまま活用。

1階：
まちの特性に沿ってひらくように改修

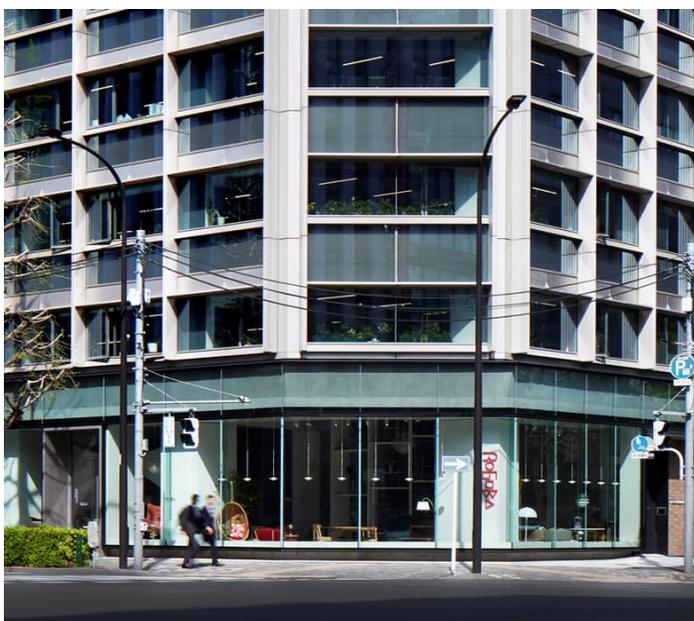
2階上部：
高い外皮性能を持つ
2002年のファサードは維持活用。
遮熱フィルムを追加し環境性能をさらに向上。

メインエントランスを新設

施設改修計画(外装)

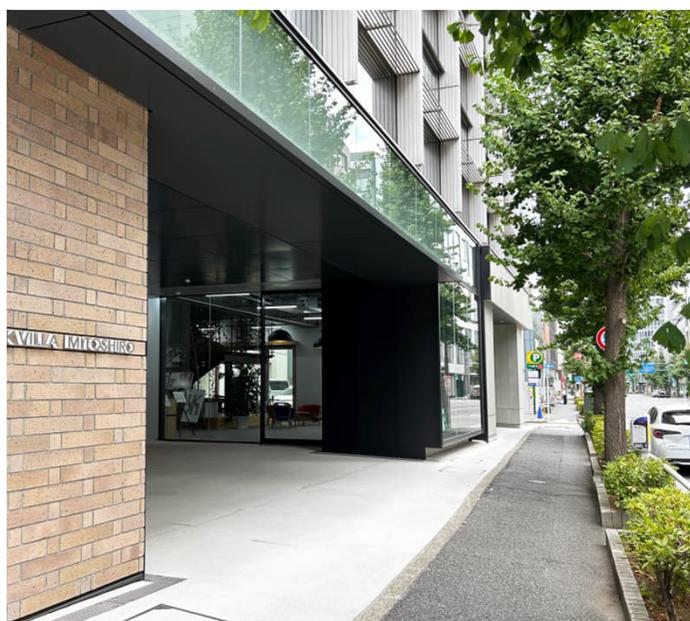
まちの特性に沿ってひらく1階

まちに発信し
価値を高める



南西面

まちに交流の場を提供し
つながりをうむ



南面エントランス

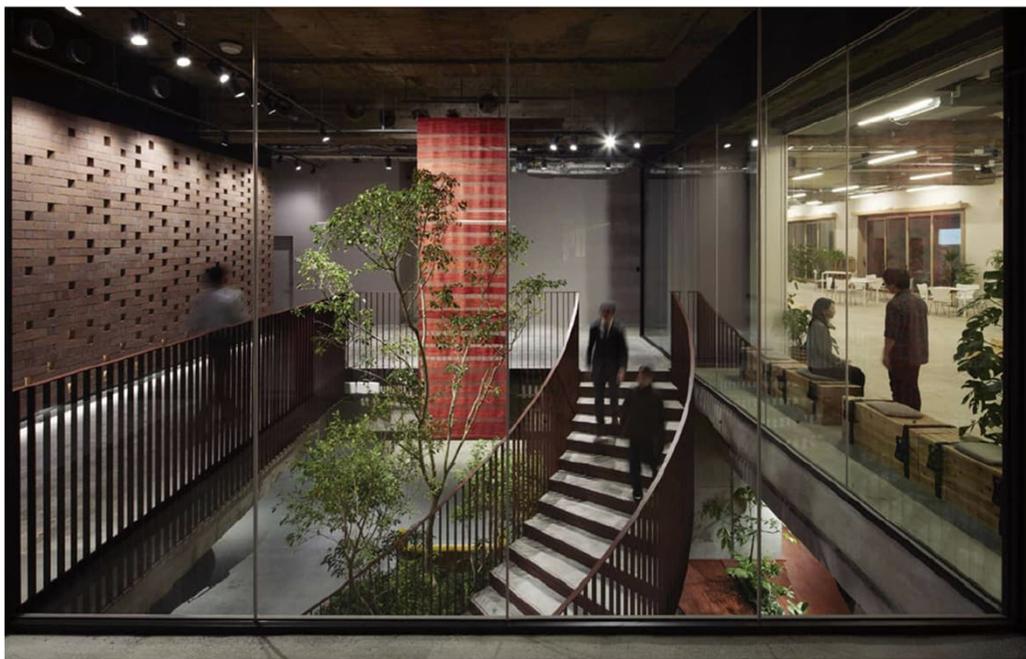
歴史文化を踏襲し、
コミュニケーションを再興する



東面

躯体を活かし引き立て、新たな機能を加える

既存躯体を引き立て、光や緑を導入した
豊かな吹抜階段

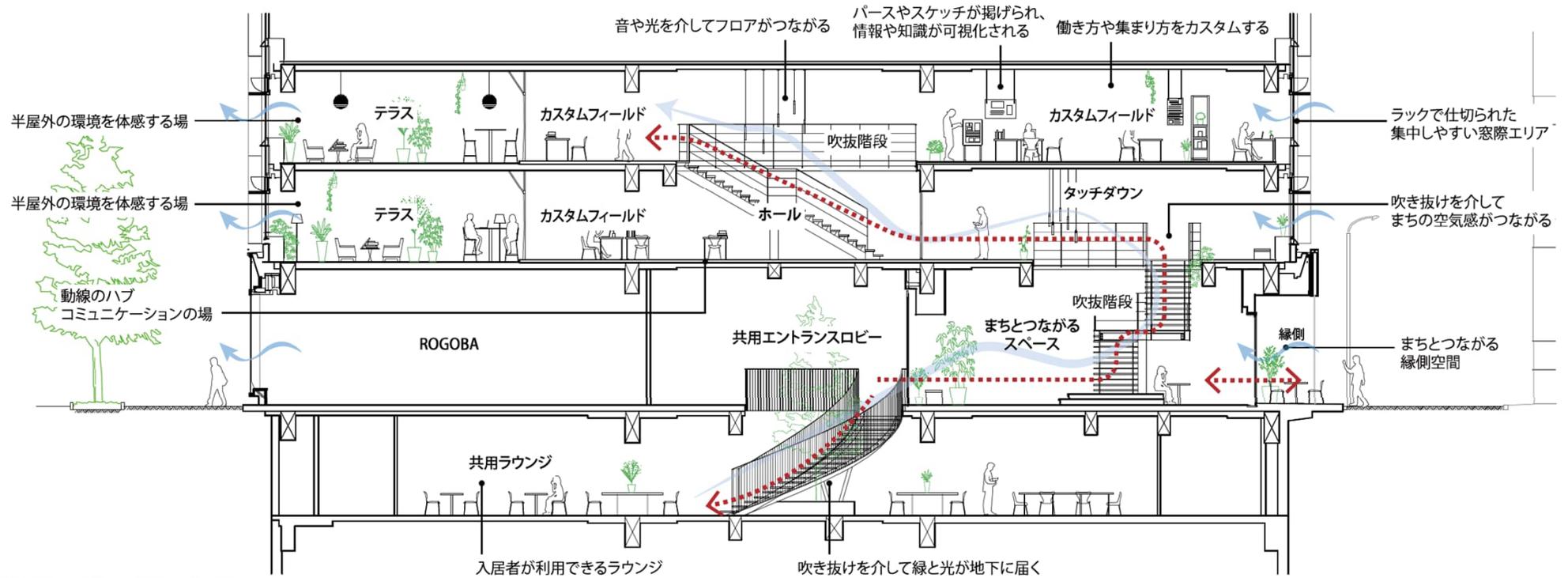


断熱性の向上・フレキシブルな空調計画
基準階 オフィス



有機的に活動が連続し、つながりが生まれる

緑・風・光・音がつながり、常に自然を感じ、リラックスできる



地下1階～3階東西断面 1/200



まちにつなげる

まちとともに成長する「美土代クリエイティブ特区」

多様な人々や地域をつなぐ **パブリックな拠点**として、安井建築設計事務所が自ら運営している。

地域の未来と価値をつくる実験場としてまちにひらく。



誰もがやりたい事にチャレンジできる オープンノベーションの場

交流会や
コラボレーション企画が
生まれる

ビル企業同士の交流が活発化



町会活動に参加!



町会に所属してまちと
一緒に活動する

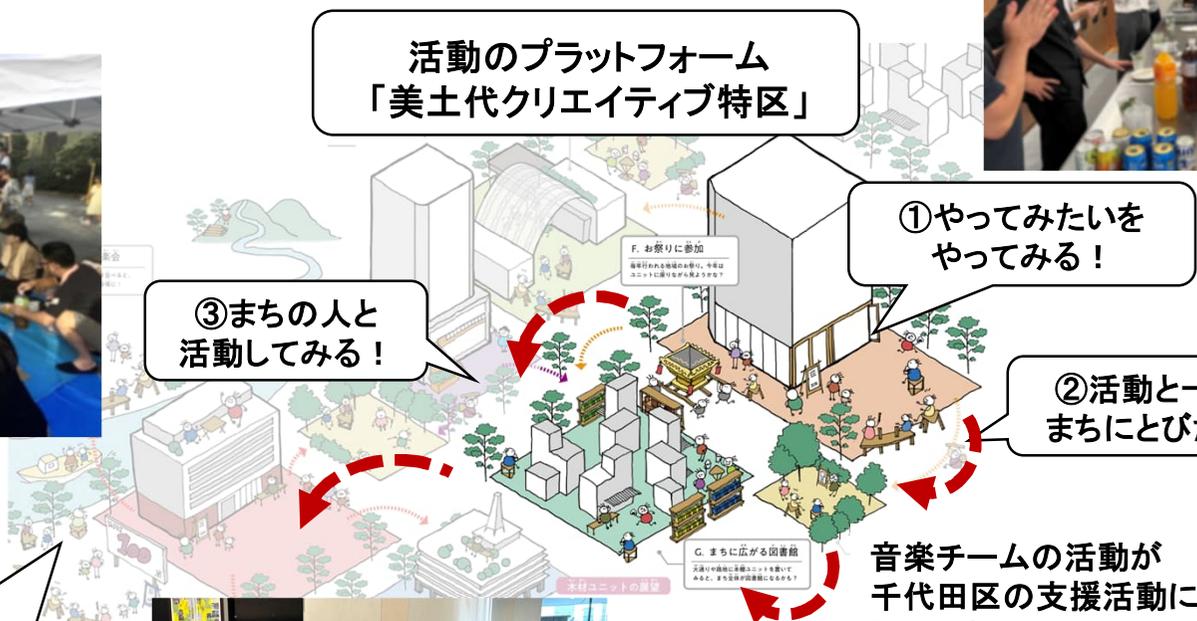
④まちにひろがる!
まちを元気にする!

活動のプラットフォーム
「美土代クリエイティブ特区」

①やってみたいを
やってみる!

②活動と一緒に
まちにとびだす!

③まちの人と
活動してみる!



音楽チームの活動が
千代田区の支援活動に
認められる!



隣町会のイベントに
スタッフ・出展を行う

<はじめて部門>

「サードキッチンちよだ」は、事前に実施した審査会委員の書類審査にて、満票で助成決定されました。

	グループ名称	助成決定額
1	ジェンダー-eye	5万円
2	サードキッチンちよだ	5万円
3	番町LOVER'S	5万円
4	安井建築設計事務所 音楽サークル	5万円

まちと人が成長する場づくり

- 通常時はオフィスのワークプレイス・まちの**オープンスペース**として開放
- ただのイベントスペースではなく、**地域に根付いたカルチャー**が生まれる活動を開催



【イベント】大学研究室の卒業設計展



【イベント】建築のクロストークイベント



【WS】家具WS



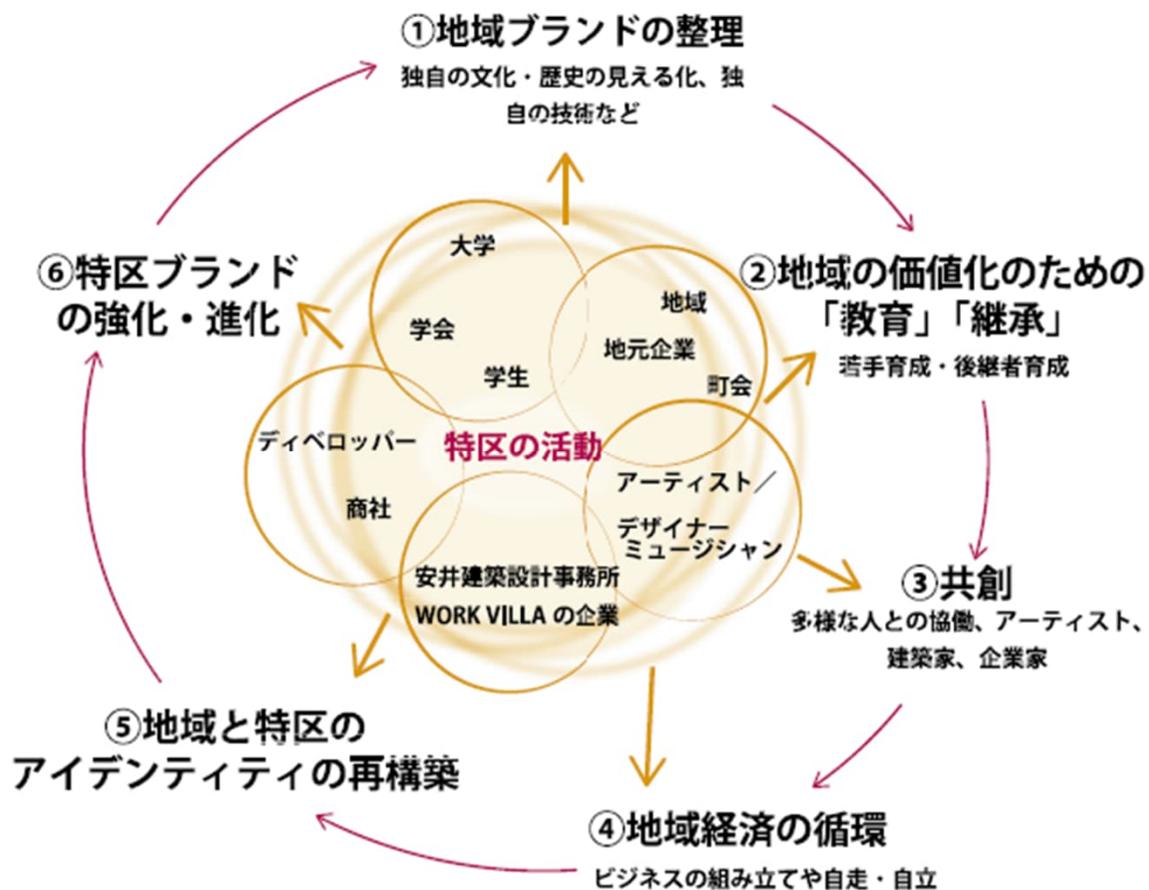
【交流】テナント交流会でトマト収穫



【地域交流】神田祭への参加



【地域交流】町内会歳末夜警本部で使用



まちにひらき、常に変化し続け
次の時代につなげる建築

WORK VILLA MITOSHIRO